



学校だより

令和5年 9月29日
練馬区立北町西小学校
校長 小松田 早苗
第724号

北西小 HP

URL



絶えずリニューアルを

校長 小松田 早苗

「暑さ寒さも彼岸まで」の言葉通り、秋の空気が身を包む心地良さを感じるようになりました。今年度もちょうど半分が過ぎ、後半に入ります。コロナ禍を通して、見直しをせざるを得なくなった教育活動や、校内の業務が数多くありました。“with コロナ”から、“post コロナ”へと段階が進んだ今、私たちがすべきことは、全てを元通りにすることではなく、よりよい形に作り直すことだと考え、できることから試みています。

毎週月曜日の全校朝会は、全校で集まることができなかった期間、放送やオンラインで行っていました。今年度は、集合型に戻すかどうかを検討した結果、オンラインでの朝会を継続しています。その理由としては、第一に、週の始まりを落ち着いて始めることができることです。短時間での校庭への移動はどうしても慌ただしくなります。移動をなくすことで、健康観察や学習の準備の時間を確保することができます。第二に、話を聴くことに集中できることです。話し手の表情がはっきりと見える上、絵や実物を示すことも容易なため、視覚的な理解が必要な児童には理解の助けになります。話す教員もそれぞれ工夫し、皆、校長より周到な準備をしています。全員が集まることにも様々な意義があることは承知の上で、整列の指導は体育などで、挨拶の指導は朝の挨拶指導でしっかりやりましようと思し合わせています。

最近の北西小の子供たちは、「ペア学年交流会」の準備や本番を楽しんでいます。1・6年、2・5年、3・4年がペア学年となって、イベントコーナーを開き、それらを回って遊ぶ特別活動で、多くの児童が楽しみにしている行事です。学級ごとに話し合っ計画を立て、準備から片付けまでをみんなで協力して行う過程で、友達や他学年と関わり、互いの良さに気付くことができる貴重な機会です。コロナ禍前は、全校一斉規模の「北西小まつり」を実施していましたが、令和3年度からは、「ペア学年交流会」と名称を変え、学級・学年を単位とした活動とすることで分散を図り、これまでのねらいが果たせるように工夫してきました。

行事の規模は小さくなりましたが、形を変えたことによって生じたメリットもあります。それは、楽しんでもらう相手が特定の学年に絞られたことで、より相手を意識した活動になっていることです。準備中は、「〇年生なら、これくらいの距離でも良さそうだね。」「〇年生の子は、このキャラクターが好きだと思う。」といった声がよく聞かれました。上の学年が様々な工夫をして自分たちを楽しませてくれた、その「おもてなし精神」を下の学年の児童が感じ、次は自分たちがどのようにしようかと考えることが大切な学びになっています。また、行事のために特別な予定を組む必要がなく、他教科や専科の学習時間に影響することなく取り組むことができるのも、現状に合った形です。

変化することに臆病になることなく、本当に必要なものを見極めながら、リニューアルを続ける学校でありたいと思っています。保護者の皆様からいただくご意見も貴重な改善の材料です。是非、様々なご意見をお寄せください。

10月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土
1	2	朝	3	学	4	短
都民の日	安全指導点検 読書月開始 ALT	生活科見学(1) ペア交流(34)② ALT	ALT	生活科見学(2)	ペア交流(25)② 委員会⑥	
5	5	5	6	6	6	5
8	9	朝	10	学	11	短
スポーツの日	ALT	ALT	避難訓練 午前授業 ALT	体力旬間(ギネス)終 咀嚼指導(4) 歯科検診(全)	たてわり遊び クラブ⑥	学校公開 作品展示(25) 部活動体験(6)
5	5	5	5	5	5	5
15	16	朝	17	学	18	短
ALT	ALT	体育館整備(6) 生活科見学予備(1) ALT	KNiGP(5・6の希望者) 14:05 ALT		クラブ⑦	
5	5	5	6	6	6	5
22	23	朝	24	学	25	短
教育実習始(～11/11) 原爆先生(6) ALT	ALT	ALT	5-2研究授業(5校時) 4時間授業(5-2を除く) ALT	校区別協議会② 14:30ごろ下校	委員会⑦	
5	5	5	6	6	6	5
29	30	朝	31	学	1	短
		生活科見学予備(2)	安全指導点検 避難訓練(引き渡し訓練)	読書月間終 金管バンド発表朝会(体育館)	文化の日	
5	5	5	6	6	6	5

朝…朝会 学…朝学習 体…体育朝会 短…短縮時程 ロング中休み…朝学習なし、3校時から通常時程
 ※()内の数字は該当学年 ※日付下部の数字は左から順に第1学年から第6学年までの授業時間
 ※クラブ・委員会のある日は、授業は5時間ですが、実質6時間目終了後と同等の下校時刻になります。

「書く」ことは、思考のアウトプット

学力向上主任 川畑 健蔵

6年生対象の「全国学力・学習状況調査」の結果が公表されました。国語に注目すると、「書く」問題の正答率が低い傾向にあることが分かりました。

「書く」ことは、思考のアウトプット。これは普段の日常会話の中でも鍛えることができます。「5W>1H」を意識した会話をご家庭で実践してみてください。例えば、「最近学校どう？」よりも、「最近は誰と遊んでいるの？」と具体的に聞いたり、お子さんの作ったものを見て「それどうしたの？」よりも「それ、いつ作ったの？」と言い換えたりすると、具体的に何を答えればよいのか分かり、アウトプットがしやすくなります。何気ない言語活動の積み重ねが思考力に結び付きます。ぜひ実践してみてください。

“相談のカケラ”

心のふれあい相談員 松井 春奈

「困ったことがあったら相談してね」と伝えていても、自分から相談できる子供は多くはありません。しかし、子供たちとの会話の中には、ちょっと嫌だったこと、不安に思っていることのような“相談のカケラ”が沢山落ちているように感じます。相談するぞ！と意気込まずとも、何気ない会話の中で気持ちが楽になると感じる子もいます。相談することと、日々の会話には大きな差はないのかもしれませんが、何気ない会話の中に“相談のカケラ”を見つけたときは、子供の話に耳を傾けていただければと思います。

また、相談室は保護者の方のご予約も可能です。保護者の方も「相談するぞ」と意気込みせず、気楽にお話にいらしてください。

〈スクールカウンセラー 来校予定〉

10月2日(月) 16日(月) 23日(月) 30日(月)

※お問い合わせ

スクールカウンセラー直通番号 TEL 090-7196-9537

今月の生活指導目標

落ち着いて生活をしよう